

今月の スポットライト Spotlight



(有)スワイン清藤
代表取締役
清藤 智行さん

きりしま
支部

同友会で学び 自社がめざす道がみえた

お仕事について教えてください。

農業大学卒業後、群馬の養豚会社に就職しましたが、21才のときに母親に「帰ってきて欲しい」と頼まれ、地元・都城に帰ってきました。

祖父が庭先で始めた養豚を、父親の代で本格的な養豚業へと発展させました。現在は父から承継し2代目として経営を担っています。養豚場では自分と姉、外国人実習生1名が管理を担当し、近々もう1名が加わる予定です。店舗では妻と女性スタッフ1名が自社ブランド豚「とんぶぎん」を販売しています。

もともとは、黒豚のみを育てていましたが、販売の難しさに直面し、現在は黒豚と白豚の両方を育てています。

とんぶぎん誕生のエピソード

「とんぶぎん」が誕生したきっかけは、飼育中の豚が脱走し、まさかと思ったら、隣のカボチャ畑でカボチャを食べて寝ていたという出来事でした。これを機にカボチャを飼料に加えると、肉もおいしくなり、「とんぶぎん」というブランドが生まれました。近々導入予定のかぼちゃを乾燥して細かくする機械によ



車が好きだという清藤さん。20代の頃、働いていた養豚会社の社長が高級車に乗っているのを見て、「儲かるのかな」と思ったそうです。今はお金や高級車よりも、とんぶぎんが有名になってくれたらいいと語っていただきました。以前は「後ろ向きな性格だった」と振り返る清藤さんですが、現在の熱意あふれる姿に感動いたしました!

インタビュー
鍼灸治療院YELL 請問 ひかり
(株)ハラケシステム 原 秀直
(有)別府損害保険事務所 別府 昭人
合同会社花菜 村山 美佳

(有)スワイン清藤

住所/ 都城市太郎坊町942-1
TEL/ 0986-77-6776 FAX/ 0986-77-6776
事業内容/ 養豚業



同友会に入会したきっかけを教えてください。

同友会に入会した
きっかけを教えてください

同友会に入会したのは、「自分を変えたい」という思いからでした。農場と家を往復する日々で、次第に同業者の集まりにも足が遠のいており、自分の殻に閉じこもっているような日々でした。同じ養豚業者である、永峰さんから誘いを受け、「自分を変えられるよ」という言葉を聞いて、入会を決意しました。

今後の展望を教えてください

現在は、きりしま支部の幹事をしており、同友会活動にも積極的に参加したいと思っています。

「とんぶぎん」ブランドの確立をめざします。認知度をあげるために、キッチンカーで地域のイベントを巡る計画を進めています。「宮崎といえば「とんぶぎん」と言われるように、そして、将来的には飲食店やスーパーを通じて「とんぶぎん」を多くの人に手に取ってもらえるような展開を描いています。

DO YOU 活動ズームアップ

[ひむか支部]

同友会を知る会拡大バージョン(1月例会)

1月21日(火)、初めて西都市の西都商工会議所に『同友会を知る会拡大バージョン(以下、例会)』を開催。この例会は、会員が2名しかいない西都市での仲間づくりを目的にひむか支部と理事会が合同で開催しました。ひむか支部、理事会を中心に各支部からもご参加、お声かけいただき、45名(9名(会員代理含む)29.0%+他支部27名+ゲスト7名+会員企業2名)の参加者となり、ひむか支部での例会では最多の参加者でした。報告は、組織強化推進協議会座長の迎敬雄氏(宮崎北支部)に、「挑戦の軌跡~同友会の活用で自社経営をよりよく変える~」と題して、厳しい経営状況の中にあっても前向きに考え、同友会での学びを愚直に実践している内容でした。ゲストの方から入会希望の声も聞こえ、ひむか支部の飛躍の1年をスタートすることができました。



新着まだまだ、たくさん活動しています!/
活動内容は同友会Facebookでも配信中!!



12月理事会報告

日時: 12月25日(水) 17:00~20:00 於: 同友会ネットワークセンター&Zoom
理事26名中24名出席(出席率92.3%)+事務局2名

- 前回理事会(11月28日)から以降の活動の経過報告を確認するとともに、12月24日までの10名の入会申し込みと8名の退会申出を承認しました。会員数は470名。
- 宮崎同友会の財政シュミレーションについての総務財務委員会からの報告をうけて、対応策検討を目的に1月16日(木)13時30分から臨時理事会の開催を確認しました。また、法人化についての学習会も、この臨時理事会につづいて15時から開催すること、学習会は役員会全体に呼びかけることを確認しました。
- 会員増強の進捗と1~3月での取り組みについて各支部代表幹事からは、あらためて期末目標達成の決意の発言があったが、具体的な見通しは語られませんでした。1月21日(火)西都市での「ひむか支部・同友会を知る会拡大バージョン」の準備状況を日高(憲)代表幹事からの報告をもとに確認。理事の当日出席と西都市近郊の経営者への案内を申し合わせました。
- みやざき中小企業経営フォーラムの準備について、(1)第33回経営フォーラムの準備について、南平実行委員長からの報告をもとに、内容づくりは順調に進行しているが、参加の呼びかけ・登録の進捗はかばかしくない状況を確認。キャンセル締め切りの1月31日には各支部目標を達成するよう、呼びかけを勧めていくことを確認しました。(2)第34回経営フォーラムについて、ひむか支部の日高(憲)代表幹事より「27年度秋の第36回フォーラムを担当したい」という幹事会からの協議結果の報告をうけて意見交換。フォーラムの開催を支部成長のきっかけとできないだろうか等の意見がだされ、ひむか支部の1月幹事会(10日)をリアル開催として、理事会からも出席し、再度話し合いを行うこととしました。
- 第52回青全交in宮崎の理事会としてのまとめを、前島担当理事からの原案をもとに検討し、1月の中同協幹事会に報告する内容として確認しました。
- 2025年度の活動方針の骨格について、那須代表理事から説明と提案があり、グループ討論を行いました。提案内容について確認し、まとめでは「励まし合いの会風をつくっていこう」と提起がありました。この活動方針の骨格の展開を前提に、それぞれの組織での活動方針を作成していくこと、2月20日までにその骨格を提出してもらい、2月理事会(26日)で交流することを申し合わせました。
- その他9月にパート職員として採用した佐藤藤織さんが、12月31日付で退職することの報告があるとともに、愛媛全研への参加呼びかけ、対外的活動や役員研修会等の案内がありました。

1月理事会報告

日時: 1月29日(水) 17:00~20:15 於: Zoom会議
理事26名中24名出席(出席率92.3%)+事務局1名

- 前回理事会(12月25日)から以降の活動の経過報告を確認するとともに、1月28日までの4名の退会申出を承認しました。入会申込みは0名。会員数は466名。
- 組織強化推進協議会からの報告と提起として(1)1月21日(火)西都市での「ひむか支部・同友会を知る会拡大バージョン」について、7名のゲスト参加者のフォローと来期もひきつづき西都市での学びの場の開催を確認しました。(2)会員増強の進捗と2~3月での取り組みについて各組織で決めたことを実践し目標達成にむけて行動することをおため確認しました。
- 2025年度役員について、各選考委員会での報告をもとに2025年度の役員体制が固まりつつあることを確認するとともに、3月に人が育つ会社づくり推進協議会により設定される新年度役員研修会への参加を促していくことを確認しました。
- みやざき中小企業経営フォーラムの準備について、(1)第33回経営フォーラムの準備について、参加登録が目標に達成していないことから、名簿掲載の締切を2月5日まで延長すること、会場変更の報告を確認しました。(2)第34回経営フォーラムについて、日高(憲)代表幹事よりひむか支部1月幹事会での検討の結果、34回フォーラムの設置をひむか支部で担当すること、小原拓也氏(小原農園 代表)を実行委員長として推薦することが報告され、了承されました。開催時期については、ひむか支部の2月幹事会で検討し、2月理事会で決定することとしました。
- 2024年度活動の振り返り(1次案)について、事務局より提案がありました。グループ討論等の時間がないため各理事意見を個別に寄せることを確認しました。
- 2025年度予算案の検討について、1月16日の臨時理事会での議論をふまえて総務財務委員会から予算案の再検討の途中報告がありました。その中でコロナ禍以降無料となっている例会のゲストと会員企業の参加費有料化の提案があり、会費として2,000円をいただくこと、原則としてリアル参加を案内しZoom参加となった場合は紹介者が集金を行うこととしました。]にお願います。
- 2025年度の活動方針の作成について、(1)10-12月期景況調査の結果を各支部幹事会でも意見交換し、その内容を活動方針に反映すること、(2)県の活動方針の骨格としては、厳しい経営環境が予想される中で、「例会の充実(学びあう場)、例会を中心とした組織拡大(増強の場)」を追加すること、(3)活動計画作成にあたっては、第1週に幹事会・推進協議会、第2週に委員会、第3・4週に組織活動を組むこと等を申し合わせ確認しました。支部・青年部会・委員会・推進協議会の総括・方針の骨格を2月20日までに提出することを申し合わせました。



最

後に社長の描く夢を尋ねました。「地域で一番の誇りが持

訪問記

ほうもんき Vol.60

巴設備工業(株)は大淀川下流、海洋高校に近い場所に位置しています。広い敷地には、現場用機材が立ち並び、道路沿いにある大きな倉庫建物の一角に事務所がありました。下水流匠社長に、経営理念「水と空気で、安心・安全な未来へつなぐ」が掲げられている会議室に案内してもらい、取材をさせてもらいました。この経営理念は、下水流社長が第20期「経営指針をつくる会《理念編》」を受講し、そこで作成したものだそうです。



巴設備工業(株)

代表取締役 下水流 匠さん

[宮崎北支部]

歴史と技術を受け継ぐ

とができてくるのは支えてくれている社員さんのお陰」と下水流氏は話します。

同社を支える社員さん達の労働環境には気を配り、休日や待遇面を見直し、改善にも力を入れていました。「ひなたの極」を取得しましたが、これは通過点であり、これからは社内教育にも力を入れていきたいそうです。これまでの担当者しかわからないという属人化した組織から脱皮するため、情報の共有化を目的に、毎月第4火曜日、16時30分から17時の30分間、全体会議を行っています。この全体会議は下水流氏が不在でも行っているそうです。

また、1対1での個人面談を半年に一回行い、下水流氏の考える会社の方向性や日常での出来事を中心に語りあっているそうです。お互いのコミュニケーションをはかり、社員の自己課題を認識して、成長するきっかけの場をめざしていました。「今後は、さらなる組織の強靭化をめざし、DXの活用による情報共有、管理部門の省力化など働き方改革に積極的に取り組み、業績向上を落っていきたい」と力強く語ってくれました。

てる設備会社』にしたい！誇りが持てる会社というのには、社員さんが確かな技術力で、地域のライフラインを支えること、そこからお客さんに信頼され、地域の若者に憧れられること。地域にとって、なくてはならない会社になっていきたい」と、これからの展望を描いていました。

経営理念

水と空気で、安心・安全な未来へ「つなぐ」

〈事業理念〉

私たちは、水と空気を届ける設備屋として、生活を支えます。

〈行動理念〉

私たちは、積み重ねた技術を磨き、お客様に寄り添います。

〈集団理念〉

私たちは、時代の変化に対応し、互いを尊重していきます。

巴設備工業(株)は、配水設備、給排水衛生設備、空調設備、改修・リフォームの4つの事業があります。土中の配管工事から家庭内のライフライン工事を、10代から70代の全社員16名のチーム力で行っています。

売

上の割合は、公共工事が80%、残りの20%が民間工事となっています。「経営者として、公共事業の入札取得は最も重大な業務だ」と下水流氏は語ります。

会社の強みは、

- ①約60年の歴史
- ②公共事業を続けて来た実績と信頼
- ③10代〜70代全世代の社員がいること

だそうです。この強みに代表される背景は歴史と技術の継続性だと感じました。

同

社は、先々代以来、学校や病院、マンション等のパブリックに強い元請け会社として実績を積み上げてきました。「年齢幅が広く、経験豊かな社員さんが多い。部署間の隔たりもなく、社員間の雰囲気は非常に良いです。若くして先代から自分に代表が変わり、今まで進むこ



巴設備工業(株)

住所/ 宮崎市高洲町18-8
TEL/ 0985-27-2515
FAX/ 0985-23-2888

事業内容/ 設計・施工・メンテナンス(給排水衛生ガス設備、冷暖房設備、空調調和設備、水道施設、上下水道施設、土木一式工事、リフォーム他)

HP/ <https://tomoetsubsi.co.jp/>

下水流さんは、2019年10月、鹿児島大学理学部を卒業すると同時に先輩社員がほとんどの同社に入社。入社して3年目に社長に就任、10代から70代の全世代社員を、チームとして、社内の雰囲気がいよ組織に高めました。その経営手腕は卓越しており、未来についても自信をもって語る若き姿に、これからの下水流氏が、巴設備工業(株)をどのような会社にしていくだろうと、夢を膨らませた取材でした。

取材 Sun Power 土持秀男 森田義孝

UP DATE information

役職変更

ベーカリー原田
店長 原田克彦さん(県北支部)
新 代表に就任されました。

住所登録変更

岩本建設
代表 岩本 翔太さん(宮崎北支部)
新 宮崎市佐土原町下田島13671
※電話番号の変更はありません。

広報誌にチラシを同封しませんか？

宮崎同友会会員限定で広報誌にチラシを同封することができます。

チラシは、お送りしたい月の前月末までに事務局にお送りください。

自社での取り組みを仲間にも知ってもらいましょう。

チラシの封入は1部10円です。

例えば、会員460名に封入する場合は、

460名×10円で4,600円になります。

特定の支部だけに封入することも可能です。

同封をお考えの方は事務局までご連絡ください。

TEL 0985-50-3665



SEIKADO

緒方 大介さん(33歳)

県北支部



事業の拡大と収入の柱を太くしていきたい地域貢献できるよう頑張っています！先輩方が築きあげた環境で学べることを幸せに思います。よろしくお願ひします。

日向市本町9-12
TEL / 0982-52-3518 FAX / 0982-66-0056
業種 / 菓子製造販売(和・洋菓子)

(同)シュヴァルツ・ヴァルト

代表社員 上原 弘さん(66歳)

きりしま支部



おがくず酵素風呂「萌木moegi」は、母智丘公園の桜並木近くで営業しています。萌木の酵素風呂は、針葉樹のおがくずを発熱性微生物と植物エキス酵素液により発酵させています。体の芯から温まり、深いリラクゼーション効果が得られます。地域の方々の心身の健康に役立ちたいと考えています。

都城市横町6550-3
TEL / 090-4132-3792
業種 / 美容・健康関連
(エステ・おがくず酵素風呂・酵素関連商品)

NEW FACE

今回のご紹介は12月26日~1月29日に入会された2名の新会員さん(支部別・50音順)です。

| | |
|--------|------|
| 県北支部 | 58名 |
| ひむか支部 | 31名 |
| 宮崎北支部 | 134名 |
| 宮崎南支部 | 76名 |
| きりしま支部 | 167名 |
| 合計 | 466名 |

※2025年1月29日現在